



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Shozo Tsuzuki 4-18, Kurekawa-cho, Ashiya, Hyogo
 Mail : syouzou-tsuzuki@kcc.zaq.ne.jp Phone : 0797-31-1447 659-0051, JAPAN
 URL : <http://www.kobeymca.org/ys/ashiya/>

主 題

- 国際協会会長 「とにかくやろうー成せば成る」
 Finn A Pederseon "To dare is to do"
 アジア地域会長 「とにかくやろうー成せば成る」
 Wichian Boonmapajorn "To dare is to do"
 西日本区理事 「ワイズ'の原点 愛と奉仕で社会に貢献」
 浅岡 徹夫 "Contribute to the Community
 through Active Service with Love"
 六甲部部长 「伝統を守りつつ、若返りを図ろう」
 森 紘一
 芦屋クラブ会長 「あなたがたは地の塩である」
 都筑 省三 "You are like salt for all mankind"

- 会 長 都筑省三
 直前会長 桑野友子
 副 会 長 堤 清 島田 恒
 書 記 堀江哲次 柏原佳子
 会 計 羽太英樹 堤 清
 監 事 上野恭男 田舎庸男
 連絡主事 藤田良祐
 六甲部 Y サ・ユース事業主査 桑野友子

9

Sept. 2011
 第 172 号

今月の聖句

イエスはお答えになった。「婦人よ、あなたの信仰は立派だ。あなたの願いどおりになるように。」そのとき、娘の病気はいやされた。 マタイ福音書 15:28

9月第1メネット例会プログラム

- と き: 2011年9月21日(水) 19:00~21:00
 と ころ: ホテル竹園 3階
 司 会: 福原吉孝メン
 受 付: 羽太英樹メン・堀江哲次メン
1. 開会点鐘 飯田ふみ子メネット会長
 2. クラブソング斉唱 一同
 3. 聖句朗読 羽太英樹メン
 4. 食前感謝 加輪上史子メネット
 5. 会食・歓談 一同
 6. ゲスト・ビジター紹介 福原吉孝メン
柏原佳子ウイメン
 7. 「讚美歌、ルネサンス歌曲、新しい歌」 高井和代氏
 8. 「みどり作業所支援金贈呈」 都筑省三会長・大澤昌子メネット
 9. 第2例会議事録承認 都筑省三会長
 10. 報告・協議事項 各事業委員
 11. 誕生祝い 都筑省三会長
 12. YMCA ニュース 藤田良祐連絡主事
 13. 閉会点鐘 飯田ふみ子メネット会長

メネット強調月間に寄せて



柏原佳子

メネットとは「少し小さくて可愛い人」、現在は、少し時代錯誤の印象もありますが、メネット活動は常に女性としての感覚を大切に、きめ細かい心遣いで奉仕するという意味のように思い

ます。

今期のメネット事業主任主題は「若者に夢と希望を！」メネットの愛で豊かな心を。「聖句」何事にもときがあり、天の下の出来事には全て定められた時がある。です。メネット独自の奉仕ではなく、いま、ワイズのみならず、日本が最も優先的に支援する目線、YMCAと共にワイズメンが奉仕する目的が同じ方向で女性メンバーとしてもわかりやすくとらえられます。

芦屋クラブは、2年ぶりにメネット強調月間にメネット例会を開催することになりました。

年齢的には高齢のご家族を支え、また、可愛いお孫さんのお世話と日々忙しいメネットも、この日は日ごろメンを支えているつもりでいる女性が、実は気持ちよくメンを支えられていることを実感できれば素晴らしいと思います。参加メネットも増え、メンと共に例会に参加する夢が少し実りました。

メネットの立場を理解できるウイメンでありたいと願っています。ゲストスピーカーの奏でる美しい音色と歌声に初秋の夕べを過ごすことの幸せを感謝しつつ・・・

8月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手 (累計)	
メンバー	13名	出席者	13名	28gm (28gm)	
ビジター	0名	メイキャップ	1名	都筑、井上	
ゲスト	3名	合 計	14名		
メネット	0名	在籍者	17名	ニコニコ (累計)	
合 計	16名	(内広義会員1名)		12,650 円 (22,450 円)	
		出席率	87.5%		

神戸西地区 4 クラブ納涼例会

8月第1例会報告

日時： 8月17日(水) 19時～21時
場所： ホテル竹園芦屋
司会： 羽太英樹

出席者： 飯田、井上、上野、柏原、加輪上、桑野、島田、都筑、羽太、福原、堀江、渡辺、藤田連絡主事、森統一六甲部部長、福田宏子六甲部EMC主査、山田滋己六甲部地域環境主査(計16名)

新年度にあたり六甲部の役員をお招きし、都筑会長の開会点鐘で16名の出席で8月度例会は始まった。クラブソング斉唱、聖句朗読、食前感謝をもって会食・歓談が弾んだ。会食後、六甲部役員のみなさんよりご挨拶を頂いた。初めに森部長より、本年度六甲部の重点課題について話があった。部長主題として「伝統を守りつつ、若返りを図ろう」を掲げ、若手の活力に期待して今後3年以内に六甲部メンバー200名を目指したい。芦屋クラブも17名 20名を目指してほしいと・・・。



次に福田EMC主査は部長方針に従って、「来てごらん！」と友人を例会に誘いましょうと・・・。
最後に山田地域環境主査より地域の人々との交流・奉仕を従来以上に盛り上げようと挨拶された。



続いて先週台湾で開催されたアジア大会へ参加された加輪上メンと島田メンより報告を受けた。

800名という大人数での言葉のコミュニケーションで難点を感じた。「青少年育成」がYMCAの大きな務めだと感じた。今期を最後に韓国が地域として分離独立するので、次回からはアジア大会は日本が主流とも思われるので責任が問われるかも・・・などの感想が報告された。後、事務報告と承認がなされ、閉会点鐘をもって閉会した。尚、「横浜・都筑クラブ」のメンバーの横田孝久メンがたまたま近くまできたと、顔を出された。横田氏は都筑会長のお知り合い。



羽太英樹

YMCAの北側、ホテルグリーンヒルで8月12日(金)表記例会が開催されました。芦屋から、都筑会長、次期六甲部部長、桑野ウイメン、柏原ウイメン、上野が参加しました。

神戸、神戸西、神戸ポート、神戸学園都市の正規クラブに、さんだクラブを除いた3クラブが参加して、7クラブが参加した納涼例会は70人を超え、かつての8クラブ納涼例会を想わせるような華やかな会でした。会費は、buffet料理、生ビールなど飲み放題で3,000円とリーズナブル。各クラブ紹介やアピールなどがあり、いよいよアトラクションの時間です。芦屋は柏原ウイメン発案のゴルフパター練習機による7クラブ代表パット大会を開催しました。神戸学園都市の杉本メンが3球ともホールインで優勝しましたが、3位までに都筑会長から賞品としてお菓子を贈呈し盛り上がりました。ワイズメンズクラブは大人の幼稚園なのかなー、とフト思った次第です。

上野 恭男

4ワイズ納涼例会報告

2011年8月19日(金)宝塚ホテルにて、西宮、宝塚、三田、芦屋の4クラブ合同の納涼例会が開催され、食べ放題、飲み放題のキャッチフレーズに惑わされた訳ではないが、何となく参加することになりました。私自身のモットーとするところで、ワイズクラブは地域の枠にとらわれず、出来るだけ他のクラブの行事に出掛けて他のクラブの仲間と親交を結び、他のクラブがどのような活動をされているのか、肌で感じることを大事であると思って、今回も参加させていただきました(というように七面倒くさい理由はさておいて、要は仲間となったワイズメン、ワイズウイメン、メネットと飲んで、騒いで、しゃべりまくることを期待したもの)。参加者は4クラブで80名余り、芦屋クラブからは都筑新会長、柏原佳子メン、渡辺倫子メン、上野メン、田舎の5名といささか寂しい参加者ではあったが、私を除いては夫々個性のある著名なメンバーで、それなりに他に対抗できる陣容。

6時半に三田クラブの安行メンのドライバーのもと、三田クラブ



の若林会長の開会点鐘で開始され、ゲストスピーチの神戸YMCA水野総主事も後の懇親会に配慮されて、短時間の簡素ものでした(拍手)。例会のホテル会場から、屋上ビアガーデンに移動する頃には、夕闇も迫り、絶好のパーティーの雰囲気となり、宝塚市内を見下ろす絶景のもと、ご馳走とドリンクの開始となった。ちょっと照明が少なかったので、何を食したのか後で振り返って、記憶定かではないが、流石宝塚ホテルの料理で、何を食べても美味であったと思う。途中、アトラクションで不肖私も引っぱり出されて、柏原ウイメンとタグを組んで、はったり紛いの回答が1位となったのは、いささかの驚き。

9時、閉会となり、あまり酒の上での失敗もなく、無事家路につけたのは祝着至極で、本当に楽しい夕べでした。幹事さんご苦労様でした。

田舎 庸男

夏2011、プリテン8月号を読んで

8月18日に81歳になりました。チャーターの時からお世話になった芦屋ワイズを離れて3年、明らかに体力・気力の低下を実感しますが、芦屋クラブ10年の思い出とメンバー各位の変わらぬご厚情で、体力はとにかく気力の低下は確実にカバーされています。辞めて3年、今なお名前を残してもらっている芦屋MLと毎月ご送付いただく『プリテン』から、かつてのワイズメンたちの活動が生き生きと伝わってくるからです。

とりわけ今夏は、私が芦屋クラブで最後に関わった創立10周年記念例会でDBCを結んだ「もりおかクラブ」関連の花巻東高校の甲子園登場がエキサイティングでした。そうでなくても、70年近く、毎夏、熱戦に目頭を熱くするほどの高校野球ファンでしたから、これには力が入りました。残念ながら花巻東は惜敗しましたが、彼らの活躍が、その後の熱戦、好プレーを誘発したことは疑いありません。『プリテン』を飾った甲子園アルプス席での完全耐暑装束スタイルの芦屋クラブ応援団、傑作でした。夏といえば、恒例のみどり福祉作業所への「氷」の差し入れ、みなと横浜とはいいますが、海も山も見えない我が家の周辺、山紫水明な芦屋の夏が懐かしいです。

町永 昭五

ありがとう 花巻東

8月7日は私たちにも感動が伝わりました。翌日の各紙は称賛の嵐でした。「感動届けた驚異の粘り」、「3度追いついた……これが岩手の魂。」「震災不明の祖父に捧げる」このような状況の岩手代表に係れて私たちも良き思い出になり大会中のスクラップとみなさまの寄せ書きを送らせていただきました。



飯田義雄

飯田メンのご尽力により、花巻東高校の甲子園での健闘記録(新聞記事切抜き、寄せ書き、フラッグ、甲子園球場記念絵葉書と切手など)がスクラップとしてまとめられ、DBC もりおかクラブ長岡直前会長(ご息子が花巻東野球部捕手)に送られました。

堀江哲次

イエリア旅行記

今年、5月中旬の9日間(機中2泊)、グループツアーでイタリアへ妻と旅行、その旅行記をプリテンへ投稿との依頼があり、イタリアへは多くの方が旅行され皆様ご存知の国だと思ひ、一度はお断りしましたが、紙面の関係で中味の薄い内容で恐縮ですが、貴重なプリテンの紙面に敢えて載せさせていただきます。

イタリアへは2回目で、前回は平成11年に招待旅行に同行し、フィレンツェ、ピサ、アッシジ、ローマを見学。今回と異なり行程に余裕がありフィレンツェでは、高所恐怖症の私が花の聖母大聖堂のドゥオーモの高さ100メートルを超えるクーポラ(円蓋)からフィレンツェ市内を一望、ピサでも果敢にドゥオーモに上りました。アッシジでは2年前の地震で修復中のサン・フランチェスコ大聖堂で清貧の聖人聖フランチェスコに触れる機会を得、ローマでは市内観光の後、圧巻はバチカン美術館を閉館後に我々の団体だけが入館してガイドの説明を聞きラファエロの間等を見学、特にシステリーナ礼拝堂のミケランジェロの最高傑作「最後の審判」を壁際の椅子に座りじっくりと鑑賞できたことに感激しました。

さて、今回はミラノ、ベネチア、フィレンツェ、ローマ、ボンペイ、ナポリ、カプリ島、アマルフィ等の世界遺産を中心に主な観光地を駆け足で巡って来ました。初日、ミラノに午後到着しゴシック様式の大聖堂やスフォルツェスコ城を巡る観光。ミラノからベネチアへ移動宿泊。2日目はベネチア本島へ渡りサンマルコ寺院、ベネチアンガラス工房を見学し、憧れのゴンドラ遊覧を約30分楽しみました。フィレンツェのホテルへ移動。3日目は、フィレンツェのウフィッツィ美術館で「ヴィーナスの誕生」他を鑑賞、ドゥオーモ、シニョリア広場、サン・ジョバンニ洗礼堂、ベッキオ橋など市内観光と買い物を楽しみました。この日もフィレンツェ泊。



4日目は、ローマに入り、世界遺産歴史地区のコロッセオ、トレビの泉、スペイン広場等を巡り、ヴァチカン市国のカトリックの総本山サンピエトロ寺院を見学。翌6日に約2千年前にベスピオ火山の灰に埋もれた古代都市ポンペイ遺跡を見学し、ナポリに移動。世界遺産ナポリ歴史地区サンタルチア港、卵城、街並みを一望できるポジリの丘を巡りナポリ泊。最終日はカプリ島に渡り「青の洞窟」(入り口が非常に狭く、状況により入れない時もある)、驚いたこと入り口の上に東日本大震災支援「がんばれ日本」「がんばれ東北」という大きな横断幕が掲げられ大変感激し、そして幸運にも洞窟に入ることが出来、美しく青く輝く水面に感動。ソレント港に戻り世界遺産アマルフィ海岸線観光のドライブと「エメラルドの洞窟」を見学し、ナポリ泊。7日間のバスの移動距離は約1,500Km。天候は、ローマ



で一時雨に降られた以外は晴れて暑い日が続いた。ともかく無事に帰国でき、更にゴンドラ遊覧、ボンペイの遺跡、青の洞窟の見学等思い出多い旅行でした。

井上雅司

9月第1例会ゲストスピーカー紹介

高井 和代氏
神戸女学院大学音楽学部声楽科卒
日伊コンソルト入選
コーラスのボイストレーナー
関西二期会正会員
神戸 YMCA ベルクワイヤーメンバー
現在「シター」演奏家として活躍中



(写真は「シター」の前で撮影)

8月第2例会・議事録(抄)

日 時: 8月24日(水) 19:00 ~ 21:00

場 所: 芦屋市民センター304号室

出席者: 飯田、井上、上野、柏原、桑野、都筑、羽太、福原、藤田、堀江、(10名)

< 報告・協議・確認事項 >

1) 第1例会プログラム

10月19日(水) 芦屋病院事業管理者(佐治文隆様)の
ゲストスピーチ。

2) 9月以降の予定 (クラブ例会以外)

9月10日(土) 神戸YMCA 125周年記念講演会

場所: 神戸教会

9月24日(土) 六甲部・クラブ対抗ローンボール大会

場所: しあわせの村

10月 8日(土) 六甲部会 (合同メネット会も同時開催)

場所: 神戸 YMCA チャペル & ANA クラウンホテル

3) 7月度会計報告

羽太会計より報告あり、承認。

4) 芦屋クラブファンド、その他

じゃがいもファンドについて西宮クラブから値上げ情報あり。ファンド委員から西宮クラブに確認し、今後の対応をご相談いただく(飯田、福原メン) “インカのめざめ”のクラブファンド化についても、あわせてご検討いただく。

馬路村ぼん酢のファンドは、当面2ケースを購入し、機会を見つけて販売。

今期の誕生日プレゼントは“しおり”で計画。

西日本区(東日本大震災支援)のキャップはデザインの再考依頼を連絡済み。

本キャップは¥1,000-/1ヶで 各クラブ員に配られる。西宮クラブから東北支援いきいきフェアの物品につき販売協力依頼があり。

堀江哲次

YMCAニュース

藤田良祐YMCA連絡主事

夏キャンプ終了

今年のキャンプ参加者(申込者)は1440名で、昨年を140名ほど上回り好調でした。

東日本大震災支援活動、継続中

8月17日(水)から20日(土)まで、宮城県名取市の中学生11名を神戸に招待。また、宮城県南三陸町の小学校で8月28日(日)の夏祭りの支援に、神戸YMCAから5名のボランティアが派遣。

ユースプラザKOBEEAST夏のイベント、無事終了

8月27日(土)「ユープラフェスティバル」が開催。101名の親子が来館、ミニコンサートでは御影高校吹奏楽部の演奏に119名の方々が来館。

8月28日(日)は高校生バンドによる発表会「NATSU ロク」が開催。3バンドが披露し63名の中高生が来館。

神戸YMCAの予定

秋のバザーカーニバル

各ランチ・センターのバザー。

西宮YMCAカーニバル: 10月16日(日)

学園都市YMCAわいわい祭り: 10月16日(日)

三宮YMCA国際バザー: 10月23日(日)

西神戸YMCA幼稚園バザー: 10月29日(土)

神戸YMCA今後の予定

第25回神戸YMCAチャリティーゴルフ大会

日 程: 10月19日(水)

場 所: オリムピックゴルフ倶楽部

参加費: 20,000円

編集後記:

夏も終わり、ようやく秋の気配が感じられる季節となりました。このたび横浜に来て3年になる町永先生よりブリンテンへの原稿をいただきました。離れていても、いつまでも芦屋クラブを気にかけて、愛してくださっている町永先生に感謝です。

堀江哲次